

第21回 定期全国大会 ~結成20年~

誇りを持って業務

執行ができる職場環境に!!



大会では延べ32名から発言があり、議論の内容は、情勢に始まり、職場の問題、仕事の課題、処遇の問題、定年延長、組織拡大など多岐に渡りました。厳しい職場環境の中で、職場で奮闘する役員・組合員の活動が報告され、次期運動方針が示されました。

職場の問題として、在職者の過労による自殺があり、職場・組織・仲間の在

国土交通省管理職ユニオンは、2018年5月26日(土)より27日(日)の2日間、愛知県豊橋市のホテルシーパレスリゾートにおいて、第21回定期全国大会を開催しました。大会には代議員をはじめ来賓など53名が参加しました。今大会は、管理職ユニオン結成20年の記念となる大会でもあり、歴代の委員長および事務局長も参加し、結成当時の情勢やユニオンの存在意義、今後の展望などについて再確認する大会となりました。

NO. 310
2018.6.12

発行 国土交通省管理職ユニオン
所在地 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.k-union.network/



り方を含め命を守る運動の必要性が報告されました。他にも身近な問題として、定員削減の中でパワハラ、災害対応、災害復旧での権限代行、管理職特権の運用、職場の環境、WLBなどの問題が数多く出されました。これらの身近な問題を少しずつでも改善すること、職場に管理職ユニオンの存在を見せられる機会でもあることが確認され

2018年度中央執行委員

役職	氏名	支部	所属等
委員長	上原 秀樹	近畿	飛鳥歴史公園 副所長
副委員長	渡邊 均	北陸	羽越河川国道 横川ダム管理支所長
副委員長	星野 豊	関東	京浜河川 防災情報課長
副委員長	落合 綱三	中部	沼津河川国道 御殿場維持出張所長
副委員長	福留 泰男	九州	武雄河川 管理第一課長
副委員長	中島 最郎	地理	中国地方測量部 部長
事務局長	西村 政司	近畿	淀川河川 用地第一課長
事務局次長	西村 正美	専従	大阪支局
事務局次長	鷹野 弘行	中部	浜松河川国道 横山出張所長
事務局次長	山本 一浩	近畿	福井河川国道 河川管理第一課長
執行委員	藤原 孝徳	東北	山形河川国道 工務第一課長
執行委員	森田 義一	北陸	阿賀川河川 塩川出張所長
執行委員	小林 治	関東	江戸川河川 経理課長
執行委員	杉山 佳幸	中部	庄内川河川 保全対策官
執行委員	小原 良一	近畿	琵琶湖河川 管理課長
執行委員	末永 敦	中国	太田川河川 工務第二課長
執行委員	向井 洋一	四国	松山河川国道 用地第一課長
執行委員	堀之内 幸昌	九州	鹿児島国道 建設専門官
執行委員	濱崎 英夫	地理	測地観測センター電子基準点課長補佐
会計監査	渡辺 万喜男	関東	横浜国道 小田原出張所長
会計監査	波多野 浩	中部	静岡河川 梅ヶ島出張所長
専従事務局長	上林 喜美夫	関東	京浜河川 田園調布(出)指導官
非専従事務局長	中山 幸男	関東	本部

上原委員長「新」西村事務局長「再選」選出

増員の問題では、身近な問題に加え、「一人出張所」、安易な兼任、いびつな職員構成、テックフォースの法制化などがあり、増える業務・減る職員の苦しい実態や閉塞感を打開するためにも増員要求は当然の要求で

ました。増員の問題では、身近な問題に加え、「一人出張所」、安易な兼任、いびつな職員構成、テックフォースの法制化などがあり、増える業務・減る職員の苦しい実態や閉塞感を打開するためにも増員要求は当然の要求で

あり、切実な職員の声でもあります。処遇改善の課題では、処遇の遅れ、当局の自在定規による昇格発令の問題を当局に示し、解決していかねければならないこと、早急に誰でも6級への道が見えることで、職員のモチベーションが上ががり、誇りを持って業務に当たることができ環境にしていけることが重要であることを確認しました。60歳以降の働き方についての課題では、今現在、フルタイムを含む再任

用制度、早期退職制度、再就職など多様な選択ができる様になってきています。しかし、早期退職制度による高齢者の賃金抑制、再任用の賃金、退職金の減額や支給時期の問題、年金制度の問題など数多くの課題があります。若手職員も含め将来の不安解消のためにも、諸課題への要求を組織し解決して行かなければなりません。これらの要求を現実するためには、日常の活動の充実や職場環境を改善していくことと同時に管理職員を孤立させず、さらに組織を大きくし1000名の組織に向けて活動していく必要があることを全員で確認しました。

第89回メーデー

アベ「働き方改革」NO!

「働き方」大改善やめよ!

5月1日(火)第89回中央メーデーは、「働く者の団結で生活と権利を守り平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンで、全国各地で開催され、ユニオンの緑の旗が各所で見られました。

近畿支部

近畿支部では、大阪、神戸三宮、滋賀大津、奈良、姫路、和歌山など各所にOBを含め36名が参加しました。会場では、行政の私物化と欺瞞と隠蔽政治をこり押しする安倍首相の退陣を求める声が高まるなど、「野党と市民の共闘で安倍政治 STOP!」「モリカケお



友達政治をやめろ」「アベ『働き方改革』NO!」などのスローガンが掲げられ、集会後はデモ行進が行われました。

関東支部

関東支部では、全体の参加者が主催者発表で2万8千人、ユニオンからOBを中心に4名が参加しまし



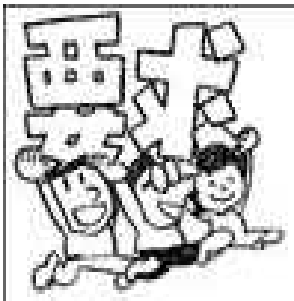
北陸支部

北陸支部では、「原発ゼロ、憲法が生きる原政を!」などのスローガンを掲げ、組合員やOBが参加しまし

参加者は、国公労連、国公労連部隊が集まっている場所に集合し、国交労組の仲間と交流しました。デモ行進は、3つのコースがあり、新宿コースを行進しました。



そのほか、中部支部をはじめ全国でメーデーに参加しています。



3単組合同で 国会議員に請願署名を提出

「国土交通省の機構拡充・職員の確保を求める署名」

5月24日、ユニオンから上林本部署務局長、中川関東支部副委員長が参加し、国交労組、全開発とともに宮本岳志衆議院議員(国会対応のため秘書が対応)、道下大樹衆議院議員、田村智子参議院議員と面談し、請願署名を手渡しました。署名は全国から集めら



れた23,500筆(5月24日現在)となっており、その他全開発などで未集約があります。2014年度当初から2018年度まで国土交通省全体で、予算定員は646名の削減となっています。しかし、地方整備局(港湾含む)では、省全体の削減数より多い923名の削減がされており(グラフ参照)、交代要員も居ない災害対応など増員が必要となっています。



「国土交通省の機構拡充・職員の確保を求める請願署名の趣旨」
国土交通省は「国土の総合的かつ体系的な利用、開発と保全、社会資本整備、

交通政策の推進、気象業務の発達、地理空間情報の推進」を役割・機能とし、経済社会と国民生活に影響の大きい政策を担っており、その役割が極めて重要となっています。しかし、引き続き定員削減により行政サービスの低下を余儀なくされており、国民の安全・安心を守り国民の要望に応え信頼される行政サービスを提供するため国土交通省の機構拡充と必要な職員の確保を強く求める請願署名です。ユニオン・国交労組・全開発が共同して取り組んでいます。

好評販売中!

「機関紙でたどる国土交通省管理職ユニオン20年の歴史」

1998年2月の結成以降2017年10月の300号までの機関紙が編集されています。
★問い合わせ先
本部書記局又は
大阪支局